

『時事直言』 No.642 2011年3月29日

時事直言ホームページ：<http://chokugen.com>

時事直言 携帯サイト：<http://mobile.chokugen.com>

FAX：03-3955-6466



時事評論家 増田俊男

世界的著名かつ大富豪投資家ウォーレン・バフェット氏が3月25日ニューデリー（インド）での講演で「ドル価は下落し、やがて購買力は極度に低下する」とドル安を予測した。

私は日本で阪神・淡路大震災が起きた1995年1月17日の後、同年2月L.A.で参加したジョージ・ソロス氏の講演を思い出す。

氏はドル高騰を強く予測した。

私は金融の神様と言われたジョン・テンプレトン氏に直接意見を聞きたいと思い連絡したが氏の声を聞くことが出来なかった。

氏の第一の弟子であったアトランタのM氏と話すことが出来たのでジョージ・ソロス氏の発言について意見を聞くと、「ジョージはまだカネが要るのだらう」と言い、オフショアでドルを売っていることを教えてくれた。

そこで私は周囲の動きに反して迷わずドル売りに転じた。

しばらくドル高が続いたので私はいささか心配になったが、4月19日になると一気にドルは急落、円は史上最高値79.75円まで急上昇した。

「私は2011年からは円安・ドル高がトレンド（基調）となる」と解説してきた。

今日のバフェット氏の市場に与える影響力は、1995年のジョージ・ソロス氏に負けないほど大きいので、ドル高はバフェット氏の（表面上の）影響力の範囲内に止まり、実際は組織的ドル売りが始まると思われるので、中・長期的にはドル安、円高になるだろう。

「トレンドは何時の時代も突発事故をきっかけに変わるものである」。

EU(ヨーロッパ連合)の財政混乱、日本の大災害、ジャスミン革命（エジプト、リビア、その他）など突発事故の続発で2011年の経済トレンドはすべて変わる！

今から50年後の世界史は2011年を「変化元年」と記録しているだろう。

国家が権威と機能を失い、安全のシンボルが地に落ち、価値観が様変わりし、何を信じていいのか分からなくなった時代。

そしてそこから「それまで人類が経験しなかった全く新しい時代が始まった年、それが2011年であった」と。

大好評配信中！増田俊男の「ここ一番！」

「ここ一番！」はここ一番のタイミングにアドバイスをお送りする増田俊男のニュース・レター。「投資家の友」として親しまれています。「危ないところを救ってくれてありがとう」、「儲かってます！」などなど好評です。読者の特権としてご質問に増田が即答します。

お問合せは、(株)増田俊男事務所 TEL:03-3955-6686 まで

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前に株式会社増田俊男事務所（TEL03-3955-6686）までお知らせ下さい。